

## WiPoT WG#2 ビーム（宇宙・自動車応用等）に係る活動（案）

背景：従来の WG#2 自動車と WG#4 宇宙応用を合併し、長期的なテーマとして新 WG#2 ビーム（宇宙・自動車応用等）を設定した

目的：マイクロ波のビームを用い、kW クラスを超える電力伝送を実用化すること

方針：ビーム方式は実用化に至るまで多くの課題がある 主要な課題について会員間の相互連携・情報交換を含めて実用化のための研究を推進していく  
また並行して WG#5 標準化（仮称）との情報交換を進め、標準化案の内容へ反映できるようにする

計画：主要な技術課題とその目標値の再設定

1. 標準化を念頭にビーム方式に求められる、一般的な項目と目標値を設定する  
（例）ビーム外への漏れ電磁界の強度要件  
研究結果について各社が持ち寄り，論議する場を設ける
2. 技術ロードマップの作成する  
上記課題の解決時期と機能確認実験，実証実験から本番運用までの時間軸を目標設定したロードマップを作成する  
補助金申請や官庁との対話，プレス発表資料等に用いる
3. 補助金獲得，対話のための模型によるデモンストレーションをおこなう  
マルチコプター公開実験の折にジャーナリスト等から期待があった「マイクロ波でドローンの動力エネルギーを供給する」を実現する
4. システムコストについて論議を始める  
宇宙・自動車用途ではシステムコストが重要であり，競合する技術に比較することが重要である WG 内で議論し，システム仕様案とその目標コスト，あるいは材料価格を積み上げたポテンシャルコストなどを具体的な数値に落とす
5. 人体安全性の実験確認をおこなう  
京都大学～ボルボで行われている人体安全性の実験の結果を共有し，更なる確認実験を継続しておこなう

